

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

お問い合わせは 広報室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 TEL.075-312-1214 FAX.075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>

2009年5月20日

**92年前に輸入した電気自動車「デトロイト号」を復活！
文化事業や環境啓発イベントなどの社会貢献活動に活用へ。**

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーションは、1917年にアメリカから輸入し、自社製の電池を積んで、通勤用や自家用の専用社用車として約30年間愛用していた電気自動車「デトロイト号」を運転可能な電気自動車として復活いたしました。今後、「デトロイト号」を文化事業や環境啓発イベントなどの社会貢献活動に活用してまいります。

「デトロイト号」は、創業者のひとりである島津源蔵（日本電池（株）初代社長）が1917年にアメリカから輸入し、自社製の鉛電池を積んで、通勤用や自家用の専用社用車として、源蔵が日本電池の社長を退任する1946年まで約30年間愛用。その形から「シルクハット」の自動車として京都市民に広く親しまれていました。

2008年、社内より当社京都本社ロビーに1981年より展示していた「デトロイト号」をもう一度走らせようという声上がり、同年夏より「デトロイト号復活プロジェクト」がスタート。当時の走りや品格を損なうことなく再現させることを修復方針に掲げ、足回りを補強、蓄電池やモーターを新調、屋根の塗り替えなどの作業を終え、本日、運転可能な電気自動車として復活いたしました。「デトロイト号」が復活するまでの軌跡につきましては、当社ホームページ内の「デトロイト号復活プロジェクト」特設サイト(http://www.gs-yuasa.com/jp/detroit_pj/top.html)をご覧ください。

また、GSユアサでは、「デトロイト号」の復活が完了した本日5月20日を「電気自動車の日」と制定、日本記念日協会（代表：加瀬清志。長野県佐久市）より本日認定を受けました。

当社は今後、復活した「デトロイト号」を当社京都本社で再び展示し、老朽化した車体の維持に努めながら、文化事業や電気自動車の普及・推進を目的とした環境啓発イベントなどの社会貢献活動、GSユアサが参加する展示会やイベントなどで活用してまいります。

まず、5月31日に開催される「COP15 CYCLING TOUR」（主催：デンマーク大使館）のコースの1つとなっている国立京都国際会館に「デトロイト号」を展示するほか（雨天の場合は展示いたしません）、6月9日より7月20日まで京都国立近代美術館で開催される「京都学 前衛都市・モダニズムの京都展」（主催：京都国立近代美術館、京都新聞社）に、6月30日より最終日まで「デトロイト号」を展示いたします。

【写真】

復活した電気自動車「デトロイト号」



[この件に関するお問い合わせ先]

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 広報室

TEL 075-312-1214